和水町議会議長

髙木　洋一郎

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた初春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から町議会に対して、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内では令和7年4月に大阪・関西万博が開幕。世界各国から2，900万人が来場し、多くの観光客で賑わったところです。

一方で、米不足と備蓄米の放出などの混乱が生じ、令和の米騒動と呼ばれる事態になりました。

さて、昨年の8月10日から11日にかけて、県内各地で記録的な大雨が発生しました。幸いにも本町では人的被害はありませんでしたが、床下浸水や道路の冠水など多くの災害が発生しました。日頃から災害に備え、防災への意識を高めていく必要性を感じたところです。

世界に目を転じますと、米国トランプ政権のアメリカ第一主義に基づく政策として、輸入品に対する関税を引き上げる相互関税政策により世界に大きな影響を及ぼしています。

また、依然として原油価格、物価高騰の影響が続いており、住民生活や地域経済が厳しい状況には変わりはありません。本町においては少子高齢化や人口減少など様々な課題が山積しており、経済の活性化、高齢者や子育て支援などに取り組んでいかなければなりません。

二元代表制のもと、町議会として行政に対する監視機能を十分に発揮することは勿論のこと、執行部としっかり議論を重ね、町民の皆様の信頼と期待に応えられるよう全力で取り組むとともに、安全安心で活力のある和水町の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

結びに、本年3月で和水町合併20周年を迎えます。この節目を町民の皆様と迎えることができることは大変うれしく思うとともに、本年が皆様にとって幸せで実り多い年となりますことを心よりお祈りし、新年のあいさつといたします。

和水町病院事業管理者

大島　茂樹

新年明けましておめでとうございます。地域の皆様にはつつがなく新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町立病院の運営に対しご理解、ご支援、ご協力をいただきまして厚く御礼申し上げます。

2017年に策定されました熊本県地域医療構想に沿って、当院では病床機能の分化及び連携の推進、在宅医療の充実、医療従事者の養成確保に努めてまいりました。現行の地域医療構想は2025年に向けた医療提供体制の構築が目的でしたので、昨年をもって一旦区切りとし、新たな地域医療構想策定についての協議が2026年から始まります。「2040年頃を見据えて、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大や現役世代の減少等に対応できるよう、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携、人材確保等を含めた地域の医療提供体制」について検討が行われます。

これまでの「回復期機能」は、その内容に「高齢者等の急性期患者への医療提供機能」が追加され、「包括期機能」として位置づけが変化します。また、医療機関機能報告の項目も高齢者救急、地域急性期機能、在宅医療等連携機能などが確保すべき機能として挙げられております。当院が従来はたしてきた役割の重要性を改めて認識しております。

当院は、急性期治療から回復期医療（リハビリや在宅復帰支援）を経て慢性期医療、在宅医療（訪問看護、訪問診療）まで切れ目のない包括的な医療を提供しております。当院でカバーできない領域に関しましては、高度急性期病院・介護施設・地域のクリニックの先生方とも連携を密にしております。健康問題でお困りの時はご相談ください。

『地域住民から、連携機関から、そして職場として選ばれる病院』を目指して、質の向上を意識しながら地域に必要な医療を提供してまいります。安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう、本年も職員一同奮闘する覚悟です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

熊本県社会教育委員連絡協議会から表彰状が贈られました

▲写真左から藤本副町長、坂口さん

地域の社会教育振興に貢献したとして、熊本県社会教育委員連絡協議会の表彰を受けた社会教育委員長の坂口弘子さん（馬場）が、10月30日に報告に来庁されました。

坂口さんは、学校の教育現場で長年培われた深い見識と豊富な経験をお持ちで、その温かい人柄と意見を聞きまとめる力で、地域の人からの信頼も厚く、社会教育に関する助言と振興に関して大きく貢献されました。

藤井山京子さんに表彰状が贈られました

▲写真左から石原町長、藤井山さん

11月21日㈮、和水町表彰規定により藤井山京子さん（板楠西）に石原町長から表彰状が贈呈されました。

藤井山さんは、和水町の教育委員を平成25年４月より３期12年間務められました。多年にわたり教育委員として地方教育行政の重責を担い、教育の振興に尽力されましたので、その功績が讃えられ表彰されました。

高齢者叙勲（きょくじょ）にて旭日単光章（たんこうしょう）を受章されました

▲写真左から石原町長、野田さん

10月に米寿を迎えられた野田勝義さん（下岩）が旭日単光章を受章されたことに伴い、11月25日㈫、ご本人へ勲章の伝達が行われました。

高齢者叙勲とは、地方自治の育成発展に貢献し、年齢88歳に達した功労者に対して授与されるものです。

野田さんは、平成３年に旧三加和町議会議員に当選されて以来、永きにわたり議員の職を務められ、当町の発展に大きく貢献されました。また、任期中には、ほ場整備事業を推進し、農業の発展に尽力される等、数々の功績が認められ、この度の受章となりました。

大日本農会（だいにほんのうかい）緑白綬有功章（りょくはくじゅゆうこうしょう）を受章されました

▲写真左から石原町長、上原さんご夫婦

公益社団法人大日本農会の令和７年度農事功績者表彰事業において、上原常博さん・紀子さんご夫婦（板楠東）が「緑白綬有功章」を受章され、11月26日、受章の報告に町長を訪問しました。

上原さんは、水稲の育苗から精米まで一貫した作業受託体制を整備。企業契約に基づき加工用バレイショ・カンショ等の安定出荷体制を確立されました。また、常博さん・紀子さんとも海外の農業研修生の受け入れ、地域の青年農業者に対する栽培指導を通じた人材育成等に貢献されたことが認められての受章となりました。